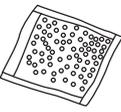
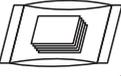
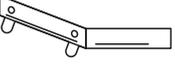
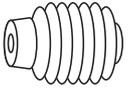


# 設置工事説明書

電解水素浴システム(+24時間風呂)



## 付属品一覧(開梱時、必ず確認してください)

<input type="checkbox"/> 取扱説明書 ..... 1部 <input type="checkbox"/> 保証書 ..... 1部 <input type="checkbox"/> 設置工事説明書 ..... 1部				
<input type="checkbox"/> 泡出しユニット  1セット	<input type="checkbox"/> トップフィルター  2枚	<input type="checkbox"/> ろ材  1袋	<input type="checkbox"/> ホース  3.6m × 1本	<input type="checkbox"/> ホースカバー  1セット
<input type="checkbox"/> 両面テープ 小  6枚	<input type="checkbox"/> 両面テープ 大  1枚	<input type="checkbox"/> キャップスパナ  1ヶ	<input type="checkbox"/> スポンジ  1ヶ	<input type="checkbox"/> 洗浄ブラシ  1本
<input type="checkbox"/> シリコンエルボ  3ヶ	<input type="checkbox"/> 樹脂エルボ  5ヶ	<input type="checkbox"/> ホース連結管  3ヶ	<input type="checkbox"/> 通水ポンプ  1ヶ	<input type="checkbox"/> 通水アダプター  1ヶ
<input type="checkbox"/> アタッチメント  1ヶ				

- ◆ 設置工事は、この設置工事説明書に従って正しく行ってください。  
設置が不完全な場合は、感電・火災・ケガ・水漏れなどの原因になります。
- ◆ 事前に設置場所をお客様と打ち合わせの上、決定してください。  
また、壁にコード貫通穴を開けるなどの工事内容をお客様に詳しく説明してください。
- ◆ この設置工事説明書は、工事終了後必ずお客様にお渡しください。
- ◆ 設置工事説明書、取扱説明書の記載どおりに設置および使用されなかった場合の製品の故障、事故について、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。



# 1

## 安全上のご注意

この注意事項は、お客様に製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の方への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。



### 警告

この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性または物的損害が想定される内容を示しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



記号は、

**警告・注意**を促す内容があることをお知らせするものです。  
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は高温注意)が描かれています。

(例)  一般的な注意



記号は、

**禁止の行為**であることを告げるものです。

図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

(例)  一般的な使用禁止



記号は、

行為を**強制**したり**指示**したりする内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグを電源コンセントから抜いてください)が描かれています。

(例)  一般的な指示       必ずアースを接続せよ

お読みになったあとは、取扱説明書および保証書とともに必ず保管してください。



# 警告

感電・火災の恐れあり		感電・火災の恐れあり	
⊘	<ul style="list-style-type: none"> <li>●お客様ご自身での工事はしない。 本体の設置および移設についてはお買い上げの販売店に依頼してください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●漏電保護プラグは、電源コードを上向きにして電源コンセントに差し込まない。 漏電保護プラグは、コードを下向きにして、確実に電源コンセントに差し込んでください。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源コードおよび漏電保護プラグは、破損したり加工したりしない。 また、重いものを置いたり、加熱したり、引っ張ったりしない。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源コードの固定にステープルを使用しない。 電源コードは、F-3号モールを使って配線し、壁にしっかりと固定してください。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源は、AC100V（50/60Hz）以外使用しない。</li> </ul>	⊘	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●差し込みのゆるい電源コンセントは使用しない。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源コンセントは浴室および屋外コンセントを使用しない。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●お客様ご自身で電源コンセントの増設、配線の追加、延長などの電気工事はしない。 必ず電気工事店に依頼してください。（電気工事は、標準工事費に含まれておりません）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水道管、ガス管等にアース線を接続しない。 感電防止のためアース工事（D種接地工事）を行ってください。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源コンセントは、他の器具と併用しない。 （延長コード、三つ又コンセントなどを使用しない） 定格15A以上の電源コンセントに単独で直接接続してください。</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●設置・配線工事の際の壁への穴開け、電源コードの固定は、屋内配線・屋内配管を傷つけない。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●濡れた手で漏電保護プラグの抜き差しをしない。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●漏電保護プラグに水をかけない。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アースを必ず接続する。 コンセントのアース端子への接続、またはD種接地工事が必要です。D種接地工事は、必ず電気工事店に依頼してください。（電気工事は、標準工事費に含まれておりません）</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●設置に際しては、設置工事説明書に従って確実にを行う。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●配線工事は、電気設備技術基準や内線規定に従い、安全、確実にを行う。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●必ず漏電保護プラグを使用する。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アース工事および配線作業は必ず漏電保護プラグを電源コンセントから抜いて行う。</li> </ul>		



# 注意

感電・火災の恐れあり	
	● 水はけの悪い場所、水やお湯がかかりやすい場所に本体を設置しない。 本体は防水構造ではありませんので水没することがないよう水はけの良い場所に設置してください。
	● 電源コードは、ドアや戸に挟まない。
	● 電源コードは直接戸や壁を通さない。 電源コードを戸や壁に通す場合は必ず硬質ビニール管もしくは耐水性の絶縁管で保護してください。
	● 漏電保護プラグを取り外して、市販のプラグに交換して使用しない。

ケガなどの恐れあり	
	● 施工後は、金属片やタイル片などをきれいに取り除く。
	● ホースやコード類は壁のコーナーや隅に沿って引き回す。

水漏れの恐れあり	
	● 耐熱性、耐水性の部材以外は工事に使用しない。

感電・ケガの恐れあり	
	● 本体の棚置きはしない。
	● 本体の転倒防止なしの設置は行わない。 転倒防止はしっかりと確実に行ってください。

感電・火災の恐れあり	
	● 電力会社との契約電流(アンペア)を確認する。 保温用ヒーターが入ったときは約9Aの電流を使いますので、他の機器を使用したときにブレーカーがしばしば動く原因になります。 ・容量が不足する場合は、契約電流(アンペア)を見直す必要があります。
	● 施工時は浴槽に毛布などをかぶせて行う。 毛布などをかぶせていないと浴槽にキズが入り、補償問題になることがあります。
	● 本機や操作パネルの設置場所は、お客様と十分打ち合わせの上決める。 壁に電源コードの貫通穴やねじ穴を開けますので、途中変更になると補償問題になることがあります。

# 2

## 目次

1 安全上のご注意	1
2 目次	4
3 工事にあたって	5
◆ 施工概略図	5
◆ 設置工事について	5
4 設置工事	6
1. 循環温浴システム取付工事の基本	6
2. 本体、操作パネル、泡出しユニットの取付位置の確認	7
3. 本体設置タイプ別設置工事	7
標準タイプ	7
浴槽の上に設置するタイプ	10
ユニットフレームの上に設置するタイプ	10
4. 操作パネルの取付	11
操作パネル取付時の注意事項	11
アタッチメントの固定	11
操作パネルの固定	12
5. 電源コードの処理	13
電源コードを漏電保護プラグから取り外す	14
電源コードを壁などの穴および硬質ビニル管または耐水性の絶縁管などに通す	14
電源コードを漏電保護プラグに取り付ける	14
6. アース工事	16
7. ホースカバーの取付	17
8. 転倒防止工事	18
9. 漏電保護プラグの取付	18
10. ろ材のセット	19
11. 本体の運転と動作の確認	22
運転方法	22
動作の確認	23
12. 工事完了の立会と確認	23
13. 本体がうまく作動しない時（故障診断）	24
5 お客様への説明	25
6 仕様	26

### 電解水素浴システム(+24時間風呂)とは？

浴水を循環しながら、浴水を電気分解して水素を発生させ水素浴を行える機能に、24時間風呂の機能(24時間連続して浴水を一定温度に保ち、浴水を浄化する)を付加した商品です。浴水が24時間連続して循環しており、お客様の日常におけるお手入れが不可欠です。また、設置工事の良し悪しが性能に影響しますので、注意事項や設置工事説明書をご覧ください。

# 3

## 工事にあたって

### 浴槽との適性について!

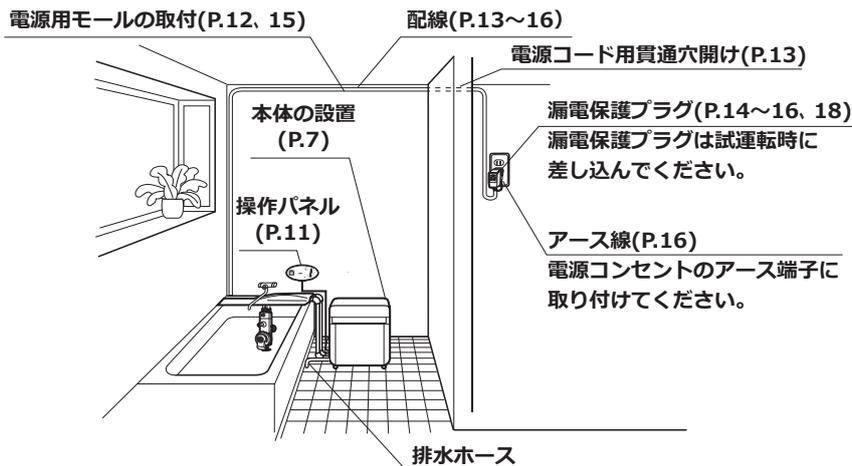
ポリエステル系人工大理石浴槽など、一部の浴槽には浴水を長期にわたり貯めて継続使用すると、浴槽の表面に荒れ、膨れ、変色などが生じる場合があります。また、浴槽に使われている排水口やチェーンなど金属部の中には、水質によりメッキがはがれてしまう場合がありますので、本機の設置前に浴槽メーカーに確認してください。金具などは、ステンレス製部品をご使用ください。

### ◆ 施工概略図

#### ⚠ 警告

- 本機や操作パネルの設置場所は、お客様と十分打ち合わせの上決める。
- 壁に電源コードの貫通穴やねじ穴を開けますので、途中変更になると補償問題になることがあります。

■ 施工時はそれぞれの項目を参照してください。



#### ⚠ 注意

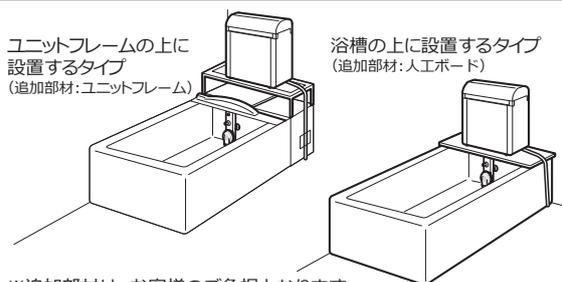
- 本体の浴室外設置は絶対にしない。

- この図の施工は一例です。設置場所については必ずお客様と打ち合わせの上、決定してください。
- 本体の電源コードの長さは約7mです。届く範囲で設置してください。
- 本体の取付高さは、浴槽水面より、上方50cm、下方1m以内(本体底面基準)となるように設置してください。
- 追い炊き釜のお湯の出口のある場合は、泡出しユニットをお湯の出口から10cm以上離れた場所に設置してください。
- 付属のホース以上にホースを延長しないでください。
- 操作パネルコードの長さは2mです。届く範囲で取り付けてください。

### 設置工事について

設置のタイプには施工概略図のほかに右図のような2タイプがあります。

お取付前にお客様と設置タイプについて相談していただき、必要に応じて追加部材を手配してください。



※追加部材は、お客様のご負担となります。

# 4

## 設置工事

### 1 循環温浴システム取付工事の基本

**1** 泡出しユニットと本体を接続するホースは、なるべく短くなるように、また、樹脂エルボを使用するときは、なるべく少なくなるように配管してください。

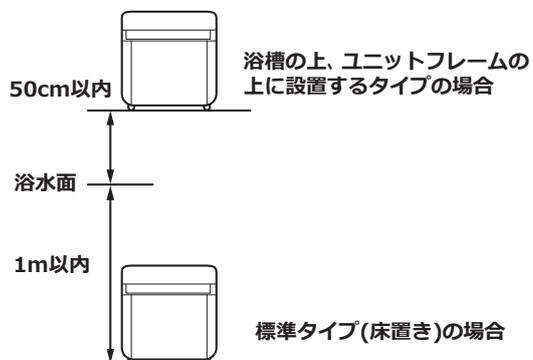
**理由** 配管抵抗が大きくなると、水流が弱くなり性能が低下します。水流が弱いと配管内に汚れが付きやすくなります。

#### お願い

- 付属のホース以上にホースを延長しないでください。  
性能低下および故障の原因になります。

**2** 本体の取付高さは、浴槽の水面より、上方50cm下方1m以内(本体底面基準)となるように設置してください。

**理由** 呼び水、お手入れがしやすくなります。浴水が循環しやすくなります。

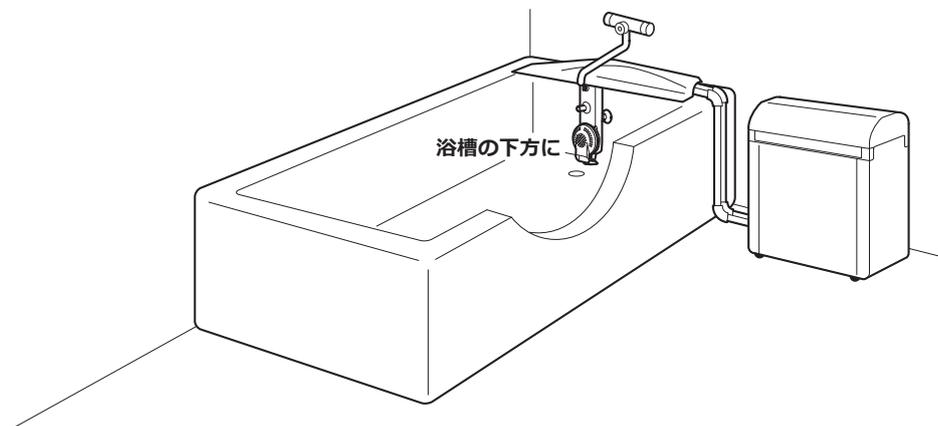


**3** 操作パネルの取付位置は、水やお湯のかかりにくいところに設置してください。

**理由** 故障の原因になります。

**4** フィルターセットの吸込口は、なるべく浴槽の下方になるようにしてください。(吸込口が浴槽の底部の中央を向くようにしてください)

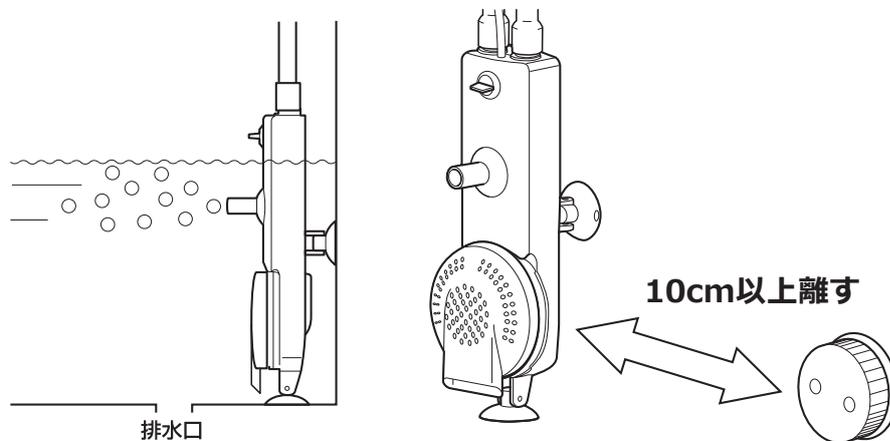
**理由** 毛やその他の汚れは浴槽の底部に溜まりやすいため、早く吸引できます。



## 2 本体、操作パネル、泡出しユニットの取付位置の確認

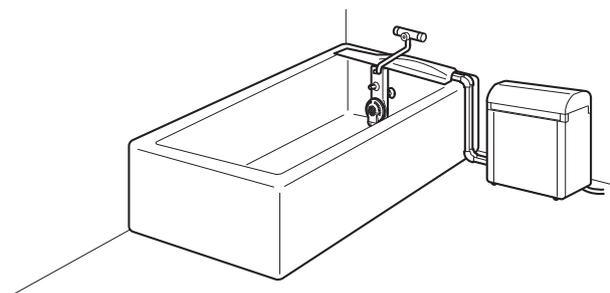
下記の点に注意して、設置場所をお客様と相談してください。

浴槽	◆本書P.5「浴槽との適性について!」参照のこと
本体	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆シャワーなどの水が、あまりかからない場所であること。</li> <li>◆操作パネルの取付位置を考慮した場所であること。</li> <li>◆本体のお手入れができる場所であること。</li> <li>◆電源コンセントまでの配線が本体の電源コード(7m)で間に合うこと。 ※無理な場合は、お客様に電源コンセントの増設をご説明いただき、電気工事店へ依頼してください。ただし、工事費は、お客様のご負担になります。</li> </ul>
操作パネル	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆シャワーなどの水がかかりにくい場所であること。</li> <li>◆本体までの配線が操作パネルコード(2m)で間に合うこと。</li> </ul>
泡出しユニット	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆浴槽排水口のなるべく近くにフィルターセットの吸込口が向いていること。 ※浴槽底の汚れを吸いやすくするため。</li> <li>◆フィルターセットの吸込口が常に水面下になるように、位置調節すること。</li> <li>◆エアースホースはホース先端が浴槽外に出ていること。</li> <li>◆追い焚き釜のお湯出口のある場合は10cm以上離すこと。 ※泡出しユニットの熱変形防止のため。</li> </ul>



## 3 本体設置タイプ別設置工事

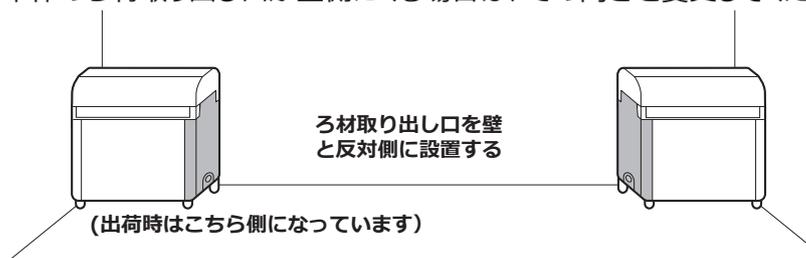
### 標準タイプ



浴槽に隣接した床面などに本体を置く、最も標準的なタイプです。

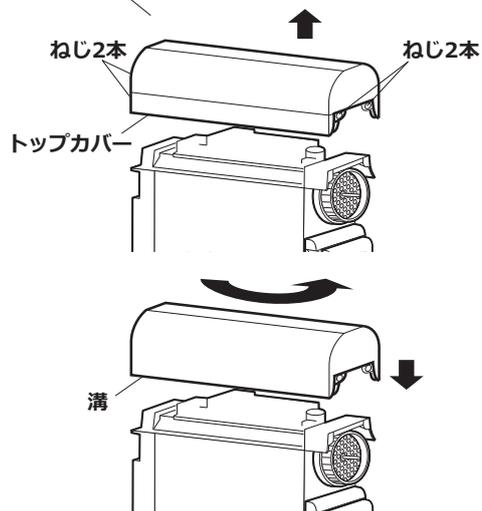
名称	工事内容	追加部材
標準タイプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本体を床面などに設置する。</li> <li>●コードを浴室外に取り出す。</li> <li>●コードをモールでカバーする。</li> </ul>	—

**1** 本体のろ材取り出し口が壁側にくる場合は、その向きを変更してください。



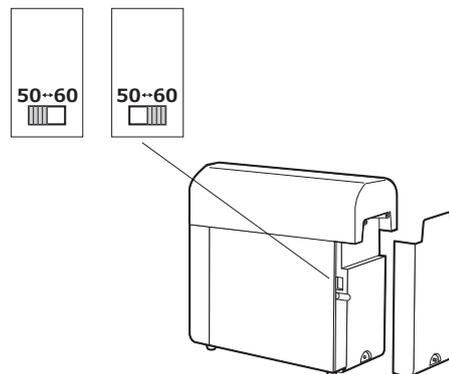
**ろ材取り出し口および化粧パネルの向きの変更方法**

- (1) 左右のサイドカバーを外します。(飾りねじ、⊕ねじ)
- (2) トップカバーの両サイドのねじ(両サイド2本ずつ)を外すとトップカバーが外れます。
- (3) トップカバーを180度回転させ、はめます。このとき、周囲の溝をきちんとはめるよう注意します。  
※この時コネクターを外さないでください。  
※配線を挟みこまないように注意してください。
- (4) 手順(2)で外したねじを止めます。
- (5) ろ材取り出し側には飾りねじ、反対側には⊕ねじを用い、サイドカバーを取り付けます。



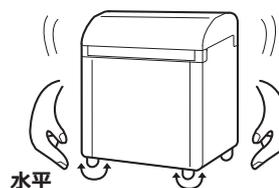
**2** 「周波数切替スイッチ」を、使用する地域の電源周波数に合わせて使用してください。電源周波数について不明な場合は電力会社にお問い合わせください。

- ※工場出荷時は50Hzにセットされています。60Hzの地域で使用する場合は必ず変更してから使用してください。
- ※周波数切替スイッチは、ろ材取り出し口と反対側のサイドカバー(⊕ねじ側)を外した側面にあります。スイッチには防水カバーがついていますので、変更後には必ずカバーをつけてください。

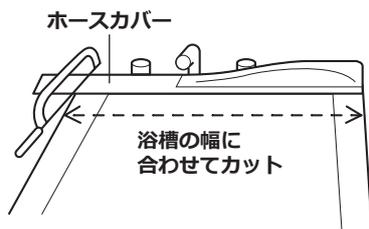


**3** 水はけが良く本体が浸水しない場所へ設置して、本体が水平になるように脚の高さを調節してください。

- ※本体が傾斜(約40°)すると、安全装置が働いて運転が停止します。水平で丈夫な床に設置してください。



**4** ホースカバーは浴槽の幅に合わせて切断して取り付けます。



**⚠ 注意**

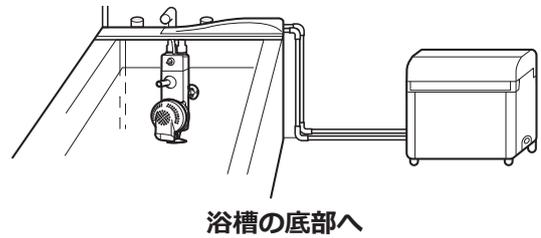
- ◆カット部はケガをしないようにヤスリなどでまらめておくこと。詳しくは「7.ホースカバーの取付」(P.17参照)をご覧ください。

**5** 各ホースは適切な長さに切ってご使用ください。

**6** 水の流れる方向とホースに印刷された矢印を間違えないように、2本のホースを泡出しユニットへ差し込み、泡出しユニットの3個の吸盤を浴槽へ押しあてて設置します。ホースがつぶれないよう配管し、ホースの曲がり角は付属の樹脂エルボを使います。

※ガス釜などを設置している場合、ガス釜のお湯出口より10cm以上離して取り付けてください。

※付属品以外の樹脂エルボは使わないでください。流量が低下し、本体の機能が十分に発揮できない場合があります。



**7** ホースカバーにホース2本とエアホース1本を通し、位置を決めてください。  
※装着・固定については、「7.ホースカバーの取付」(P.17参照)をご覧ください。

**8** 本体底部にある3ヶの入・出・排水口栓を取り外してください。

**9** 付属のシリコンエルボ、ホース連結管を用い、本体底部の入水口・出水口に間違えないように、それぞれホースの矢印の方向を確認してホースを接続します。

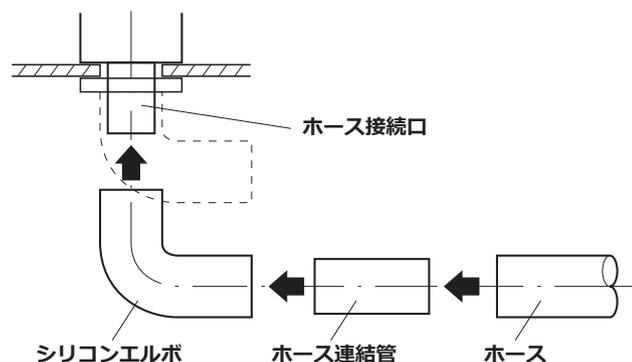
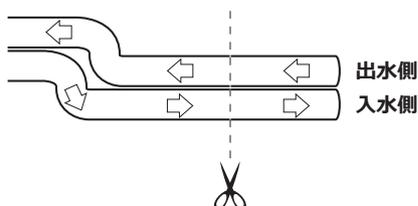
- ホースと付属のシリコンエルボを、ホース連結管を用いて接続します。
- ホースに接続されたシリコンエルボを、ホースの向きに合わせて本体底のホース接続口へ奥に当たるまで差し込みます。

**10** ホースの切り残しを利用した排水ホースと、付属のシリコンエルボ、ホース連結管を用いて排水口へ接続します。通常この排水は浴室の洗い場の排水口へ流します。

※排水ホースが足りない場合は、別売していますので、お求めください。

#### お願い

- 排水時、排水ホースから水が勢いよく流れ出てきます。最大30ℓ/分なのでその点を考慮して工事をお願いします。

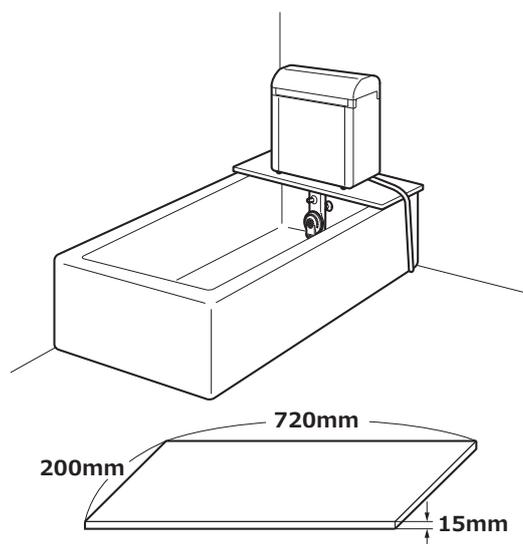


## 浴槽の上に設置するタイプ

浴室にスペースがない場合、浴槽の片側に人工ボードを置いて、その上に設置します。

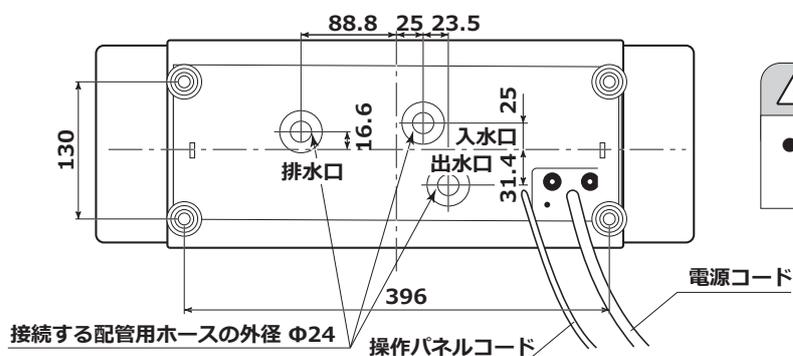
名称	工事内容	追加部材
浴槽上設置タイプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本体を浴槽の上に設置する。</li> <li>● コードを浴室外に取り出す。</li> <li>● コードをモールでカバーする。</li> </ul>	人工ボード※

※人工ボードは別料金です。



**1** 下図を参考にして、人工ボード（追加部材）を加工してください。

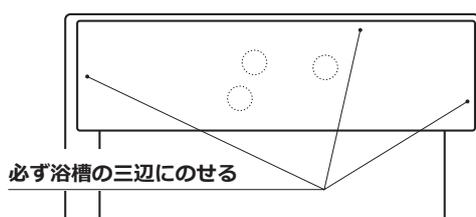
※ボードへの穴加工では“入水口”、“出水口”および“エアーストック用Φ10”の合計3つの穴を開けます。  
※穴開けはホールソーを使用し、穴は裏表両方から開けます。



### ⚠ 注意

- カット面その他のエッジはケガの原因となるので、面取加工する。

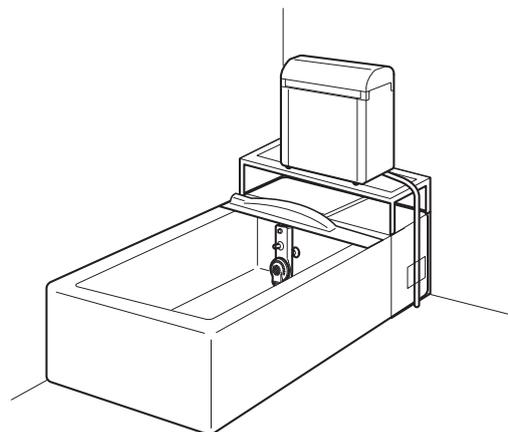
**2** 人工ボードの隅を固定するため、シリコンコーキング剤で浴槽に接着してください。（必ず三辺支持で設置してください）



**3** 以下は、標準タイプと同様に取り付けてください。

## ユニットフレームの上に設置するタイプ

浴槽に隣接してバランス釜のある浴槽では、その上を利用します。ユニットフレームを設置して、その上に本体を設置します。



## 4 操作パネルの取付

### 操作パネル取付時の注意事項

操作パネルは必ず固定してください。操作パネルは取付前に必ずお客様と打ち合わせの上、取付位置を決定してください。

### ⚠ 注意

- シャワーなど、水や浴水が多くかかるところは避ける。感電・火災の原因になることがあります。

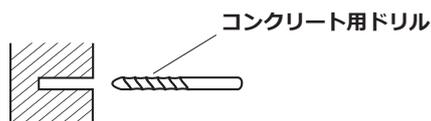
### アタッチメントの固定

#### ◆壁に穴を開ける場合（ボードアンカーは壁材に合わせた市販品をご使用ください）

### ⚠ 注意

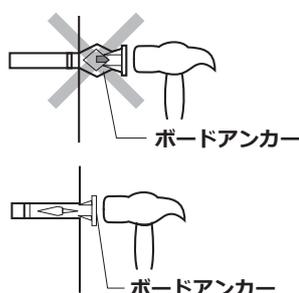
- 施工時は浴槽に毛布などをかぶせる。浴槽にキズが入り、補償問題になることがあります。施工後は金属片やタイル片などをきれいに取り除く。踏んでケガの原因になることがあります。

**1** 壁面の印に合わせて、下穴を開ける。



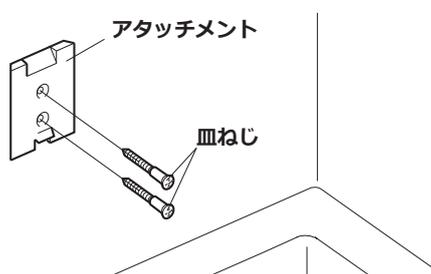
**2** ボードアンカーに合わせた穴を開け、穴の中の粉を取り除く。

**3** ボードアンカーを打ち込む。  
●右図のように浅くさしてたたくと、折り曲げ部分がふくらんで打ち込めなくなります。  
●右図のように必ず深く入れてから、軽く打ち込んでください。

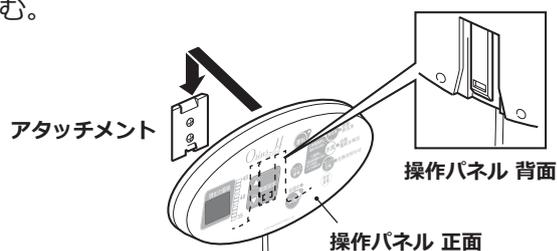


※ボードアンカーおよび取付ねじは4mm用のものをご用意ください。ねじは皿ねじをご使用ください。

**4** 皿ねじでアタッチメントを壁に取り付ける。  
●ねじはしっかりと奥までねじ込みます。ねじ込みが不十分ですと、ボードアンカーが、しっかり固定できません。

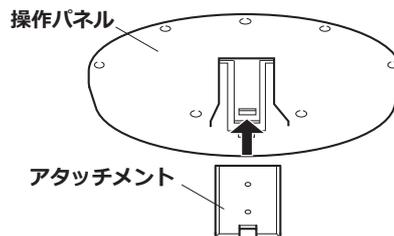


**5** 固定したアタッチメントに操作パネルを差し込む。

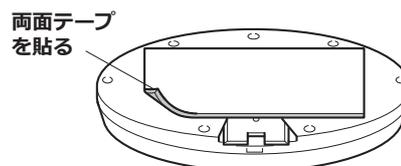


## ◆壁に穴を開けられない場合

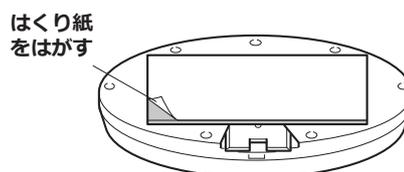
**1** 操作パネルにアタッチメントを差し込む。



**2** 両面テープを操作パネルケースの裏に貼る。  
●接着面はタオルなどで汚れや水分をよく拭き取ってください。

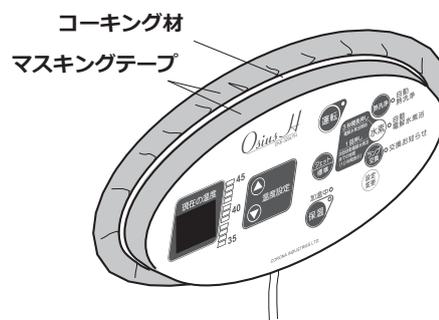


**3** 両面テープを剥がし、壁などにしっかりと固定する。  
●接着面はタオルなどで汚れや水分をよく拭き取ってください。



## 操作パネルの固定

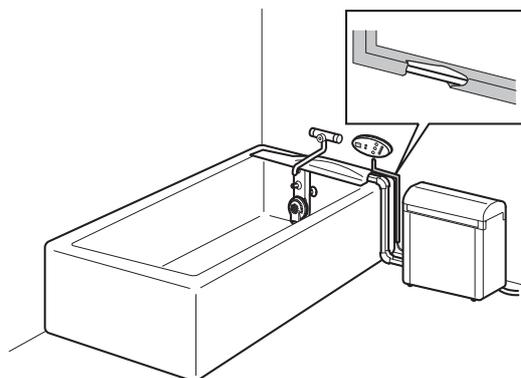
**1** 操作パネルの周囲をコーキング材で固定してください。  
●コーキング材はシリコンコーキングのホワイトまたはクリアを使用してください。  
●コーキング材をならすときは、マスキングテープを使用し、指ならしやゴムペラならしを用いてください。(マスキングテープを使用せずにコーキングした場合、コーキングした直後はわかりませんが、日数が経過しますと、ふき取った箇所に薄い皮膜ができて変色とともに汚くなってきます)



**2** コードは、モールを使用し、保護と美観のためできるだけ目につかないところを通してください。モールの設置方法は、「電源コードの処理」(P.13)を参照してください。また、余分なコードはコード押さえ等でまとめて固定してください。

### お願い

- 操作パネルコードと電源コードは、別々のモールに通してください。誤動作の原因となります。



## 5 電源コードの処理

### 1 電源コード配線の注意事項

電源コードはモールを使用し、保護と美観のためできるだけ目につかないところを通してください。

#### ⚠ 注意

- シャワーの水が多くかかる場所は避ける。
- 浴室外へ出す電源コードの穴は水のかからない場所を選ぶ。
- 壁に穴を開けたところは必ずコーキングする。(防水のため穴加工は床から高い位置にしてください)  
感電・火災の原因になることがあります。

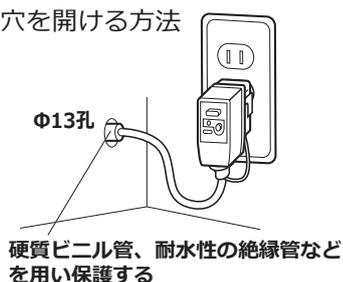
### 2 穴開け時の注意事項および穴開け方法の注意事項

#### ⚠ 警告

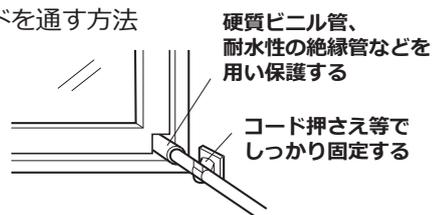
- 給水管および給湯管を傷つけない。
- ガス管を傷つけない。
- 壁の中の配線に注意する。
- 壁貫通の穴は、床からなるべく高い位置にする。
- 部屋の角には壁下地用の添え柱があるので注意する。
- タイルの穴開けは必ず目地に開ける。
- ブロック積みの浴室は、腰までブロックを積んでその上に土台を回してある構造のものもかなりの比率であるので、電源コード穴を開けるときは土台を避けるようにする。
- 必ず硬質ビニル管もしくは耐水性のある絶縁管で電源コードを保護する。
- 電源コード貫通部のエッジ部が電源コードに当たらないように、ブッシング等を用い保護を行う。  
水漏れ・感電・火災などの原因になることがあります。

#### 穴開け例

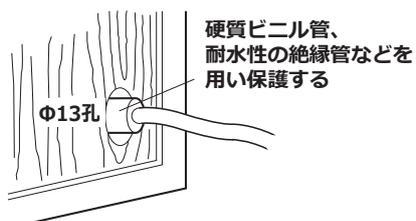
例1.壁に穴を開ける方法



例2.戸のコーナーを切りかいて電源コードを通す方法



例3.戸に穴を開ける方法



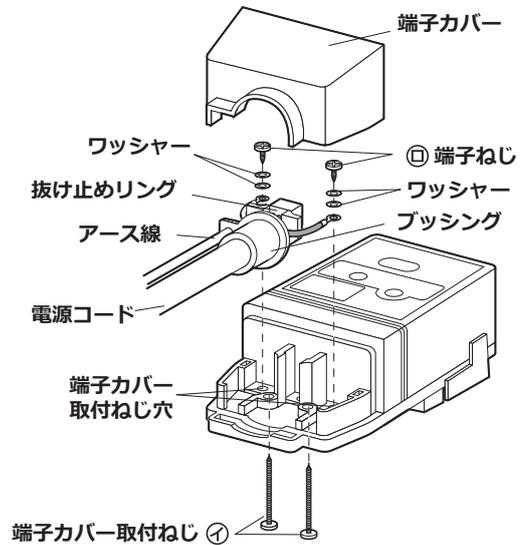
### 3 電源コードを穴に通す方法

電源コードを穴に通すために、次のように漏電保護プラグを電源コードから取り外し、電源コードを穴に通した後、漏電保護プラグを電源コードにしっかり取り付けます。

#### 電源コードを漏電保護プラグから取り外す

- (1) 漏電保護プラグの端子カバー取付ねじ ㊦ (2本) を外し、端子カバーを外す。
- (2) 端子ねじ ㊧ (2本) を外す。
- (3) ブッシングと抜け止めリングを漏電保護プラグから外す。
- (4) 抜け止めリングから電源電線(白、黒色線)を外す。
- (5) ブッシングを電源コードから抜き取る。

#### 電源コードを壁などの穴および硬質ビニル管または耐水性の絶縁管などに通す

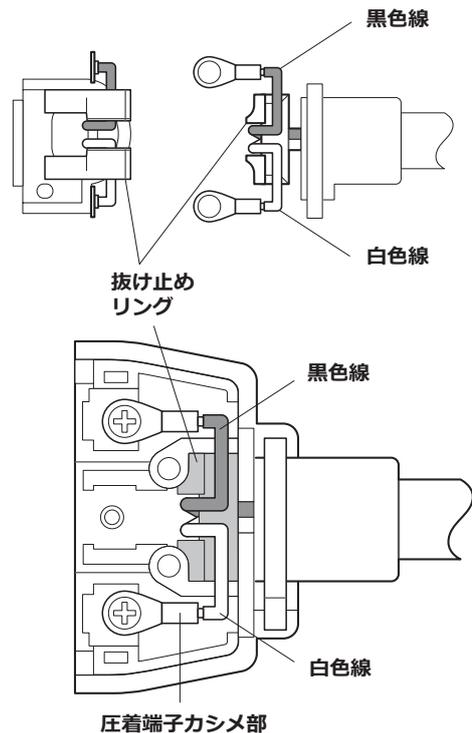


#### 電源コードを漏電保護プラグに取り付ける

- (1) 電源コードをブッシングに通す。
  - ブッシングの向きを間違えないこと。
- (2) 電源電線(白、黒色線)を右図のように抜け止めリングに取り付ける。
- (3) ブッシングと抜け止めリングをカバー溝にはめる。

#### ⚠ 注意

- 電源電線(白、黒色線)は、抜け止めリングに取り付けてからカバーに挿入する。電源電線の引張強度が低下し、火災の原因になることがあります。

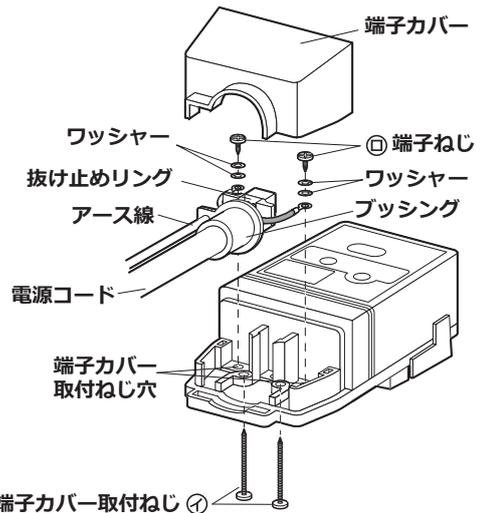


(4) 電源電線(白、黒色線)を端子ねじ ㊸ (2本) で締め付ける。(締め付けトルク:0.7~0.9N・m)

### ⚠ 注意

- 圧着端子カシメ部は必ず上向きにして締め付ける。火災の恐れがあります。
- 端子ねじ ㊸ (2本) は、しっかり締め付ける。感電・火災の恐れがあります。

(5) 端子カバーを端子カバー取付ねじ ㊹ (2本) で締め付ける。(締め付けトルク:0.5~0.8N・m)



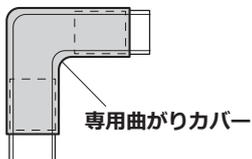
## 4 電源コードにモールを付ける時のお願い

浴室内および浴室外の電源コードにモールを付けてください。

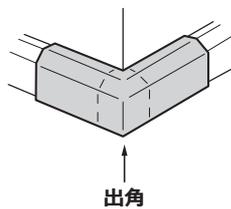
### お願い

- モールの配置は、なるべく目につかないようにしてください。
- モールの色は、なるべく壁の色に合わせてください。
- モールは、はがれ落ちないように、両面テープとシリコンコーキングで付けてください。
- 下図の例を参考にしてください。

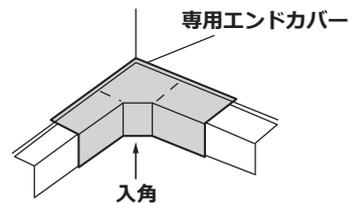
#### 専用曲がりカバーを使用



#### 出角に専用エンドカバーを使用

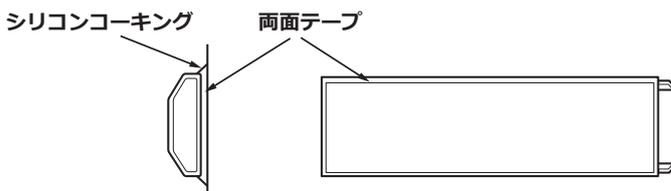


#### 入角に専用エンドカバーを使用

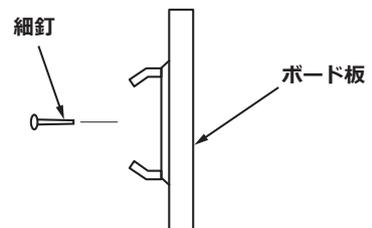


### モールの固定方法

- 壁の材質や構造を考慮して、十分な強度が出るように施工してください。
- 下図は両面テープ+シリコンコーキング使用例です。



- 下図は細釘+ボード板使用例です。

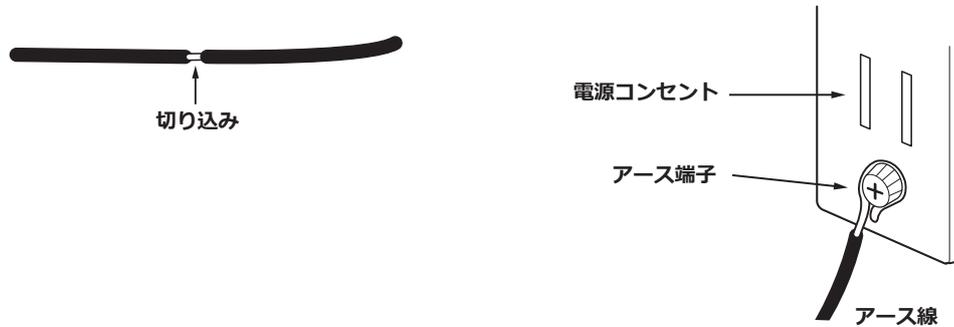


- ※F-3号モールを使用すること。
- ※両面テープは、幅25mmのものを使用すること。(両面テープのみの固定では不十分です)
- ※両面テープやシリコンコーキングで接着する前に壁面の水分と汚れを十分に落とす。(油分の除去はアルコールが適しています)

## 6 アース工事 (万一の感電事故防止のため、必ず行ってください)

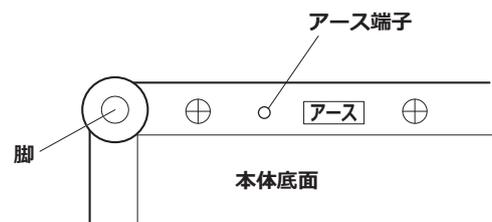
### 1 電源コンセントのアース端子に接続する場合

- (1) 漏電保護プラグのプッシングから出ているアース(色:緑/黄)先端の被覆を、切り込みから引き抜きます。
- (2) アース線の芯線を電源コンセントのアース端子に確実に固定します。



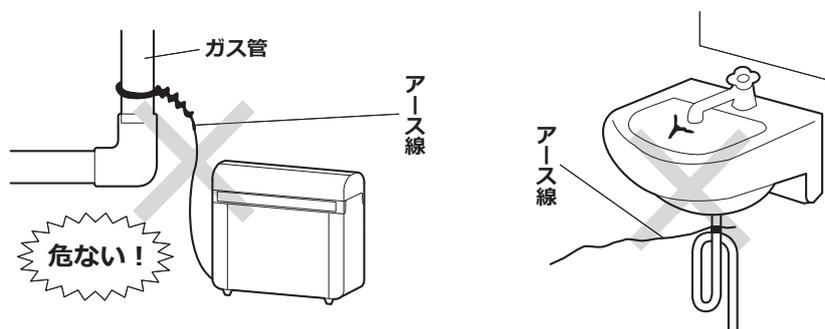
### 2 アース付きコンセントでない場合

- 必ずD種接地工事を行ってください。
  - アース工事は、電気設備技術基準に基づいて、電気工事士が行ってください。
- ※必要に応じて、本体底面にあるアース端子も利用してください。  
また、別売品としてアース棒付アース線もありますので、ご利用の際は販売店にお問い合わせください。  
※電気工事は、標準工事費に含まれておりません。



### ⚠ 警告

- 水道管、ガス管などにアース線を接続しない。  
感電防止のため、アース工事(D種接地工事)を行ってください。



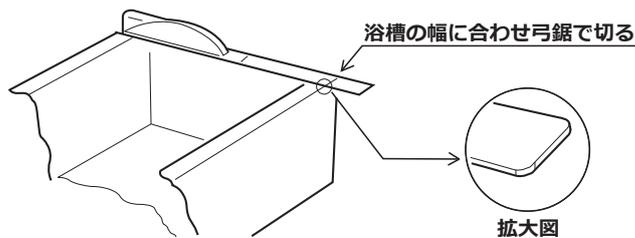
## 7 ホースカバーの取付

**1** ホースカバーを浴槽とホースに合わせて、加工・取付をしてください。

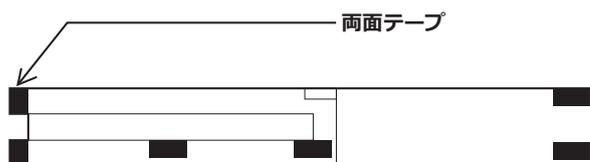
- 両面テープは水分に弱く、水分が浸透することによって接着力が低下するため、浴槽の両面テープ接着部はタオルなどで水分をよく拭き取ってください。
- お風呂のふたの取付、取外しに支障がないようにしてください。

### ⚠ 注意

- ケガの恐れがあるため、切り口はヤスリをかけ、角は面取加工する。



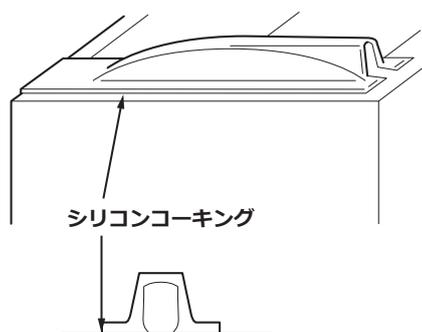
- 浴槽の接着面は、汚れを取り除き、十分に乾燥させてから接着してください。  
(油分の除去は、アルコールが適しています)



ホースカバー裏側

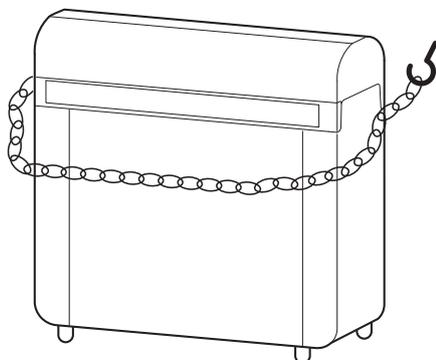
**2** ホースカバーをコーキング剤で固定してください。

- コーキング剤はシリコンコーキングのホワイトまたはクリアを使用してください。
- コーキング剤をならす時は、マスキングテープを使用し、指ならしやゴムベラならしを用いてください。  
(マスキングテープを使用せずコーキングした場合、コーキングした直後はわかりませんが、日数が経過しますと拭き取った箇所に薄い皮膜ができて変色とともに汚くなってきます)



## 8 転倒防止工事

本体が転倒しないように、本体背面のフック(2ヶ所)を利用し、浴室の壁などにしっかり固定します。(壁の材質や構造を考えて、十分な強度が出るように施工してください)または、本体全体をプラスチックもしくはステンレス製のチェーンなどで固定することもできます。



### ⚠ 注意

- 感電・ケガの恐れがあるため、必ず転倒防止を行う。

## 9 漏電保護プラグの取付

漏電保護プラグを電源コンセントへ取り付ける準備を行います。漏電保護プラグは、付属の取付補助具を使用して、電源コンセントにしっかり取り付けてください。

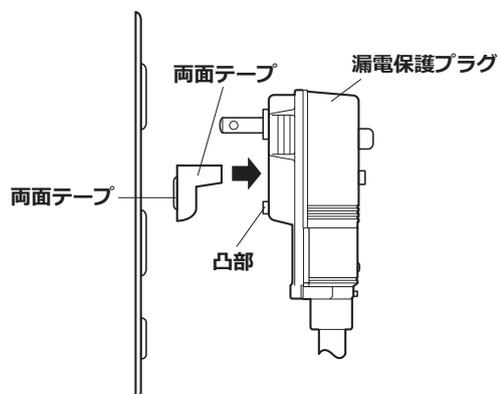
取付補助具は(1)～(4)の順で取り付けてください。

### 取付補助具の取付

- (1) 凸部に位置を合わせてはめる。
- (2) 両面テープの保護紙をはがす。
- (3) 漏電保護プラグごと電源コンセントに差し込み、全体をよく押さえる。
- (4) 漏電保護プラグを電源コンセントから抜く。

### ⚠ 警告

- 電源コンセントは、他の器具と併用しない。  
定格15A以上の電源コンセントに単独で直接、接続する。
- 漏電保護プラグは、電源コードを上向きにして電源コンセントへ差し込まない。
- 電源はAC100V (50/60Hz) 以外使用しない。  
感電・火災の原因になります。

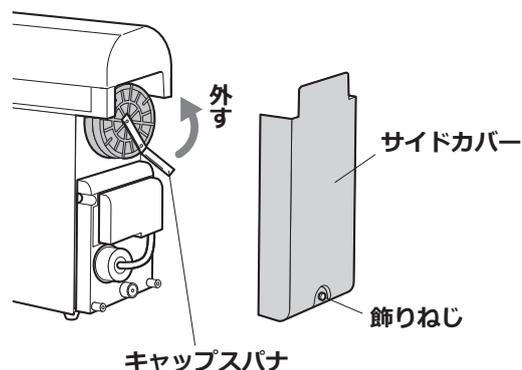


## 10 ろ材のセット

- 1** 飾りねじを外しサイドカバーを外して、付属のキャップスパナでキャップを左に回して外してください。

### ⚠ 注意

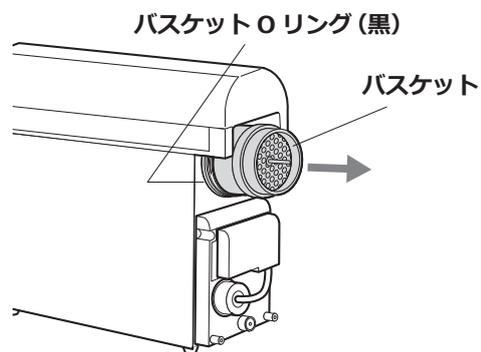
- ◆キャップスパナをすべらせてケガをしないように注意する。



- 2** 本体からバスケットを取り出してください。

### ⚠ 注意

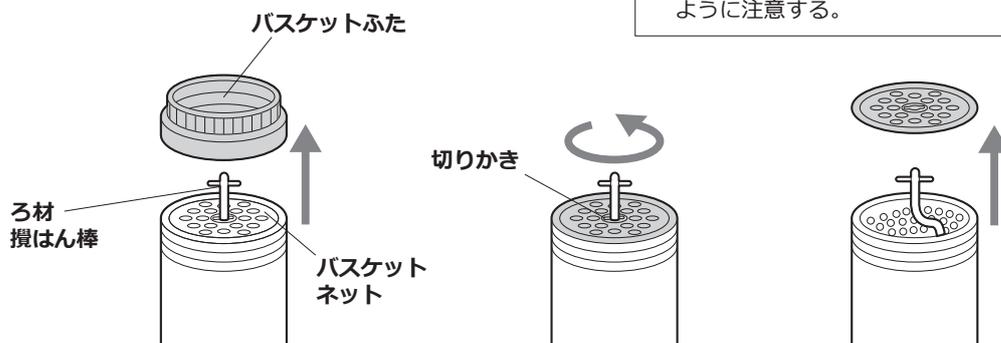
- ◆バスケット中央ろ材攪はん棒でケガをしないように注意する。
- ◆バスケットリングが切れたり外れたりしないように注意する。



- 3** バスケットふたを取り外してから、バスケットネット中央部の切りかきと、ろ材攪はん棒の向きを合わせ、バスケットネットを取り外してください。

### ⚠ 注意

- ◆バスケットなど部品のエッジでケガをしないように注意する。

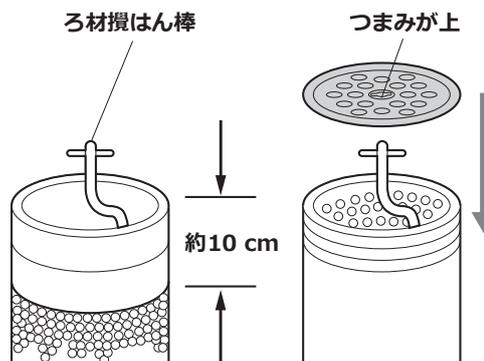


- 4** 付属品のろ材をバスケットの上部から10 cm位のところまで入れます。

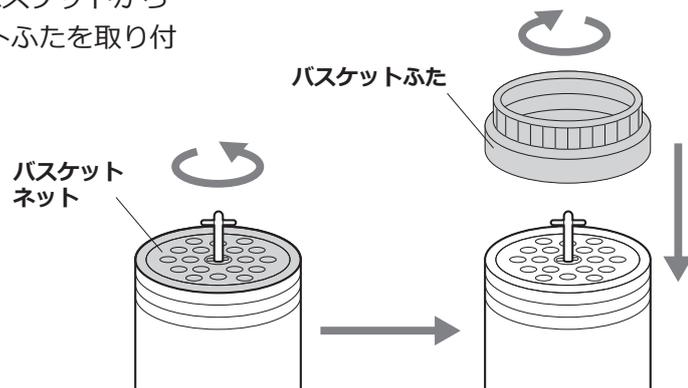
この時、ろ材攪はん棒が中央にくるようにバスケットを上下に振動させたりして少しずつろ材を入れてください。

### お願い

- ◆バスケットにろ材を入れたとき、上から10cmに満たない場合はろ材を補充してください。



- 5** バスケットネットを1/4回転し、バスケットから取れないようにしてから、バスケットふたを取り付けます。

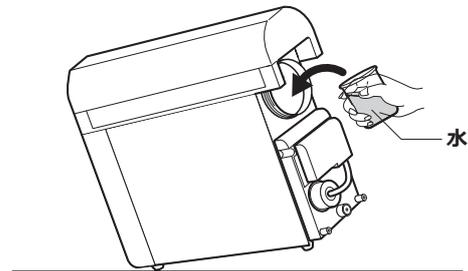


- 6** バスケットの上から水をそそいで、ろ材から粉が出なくなるまで十分にすすいでください。



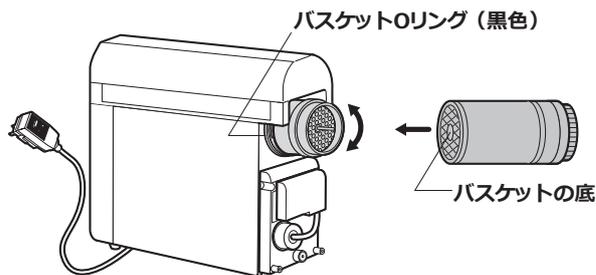
- 7** 本体を傾け、コップ1杯程度(約200ml)の水をバスケット挿入口から本体にそそぎます。

※バスケット挿入部奥にある穴に入るように流し込んでください。



- 8** バスケットをバスケットの底から本体へセットします。奥までセットしたところで、少し回転させ、回転部がきちんとはまっているか確認します。

※バスケットOリングがきちんとセットされていることを確認してください。

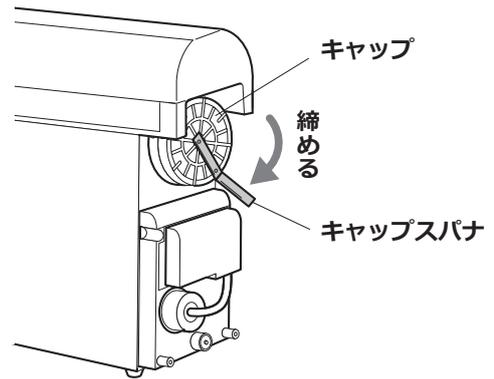


#### お願い

- 奥まで入っていませんと、キャップが締まらず水漏れの原因となります。

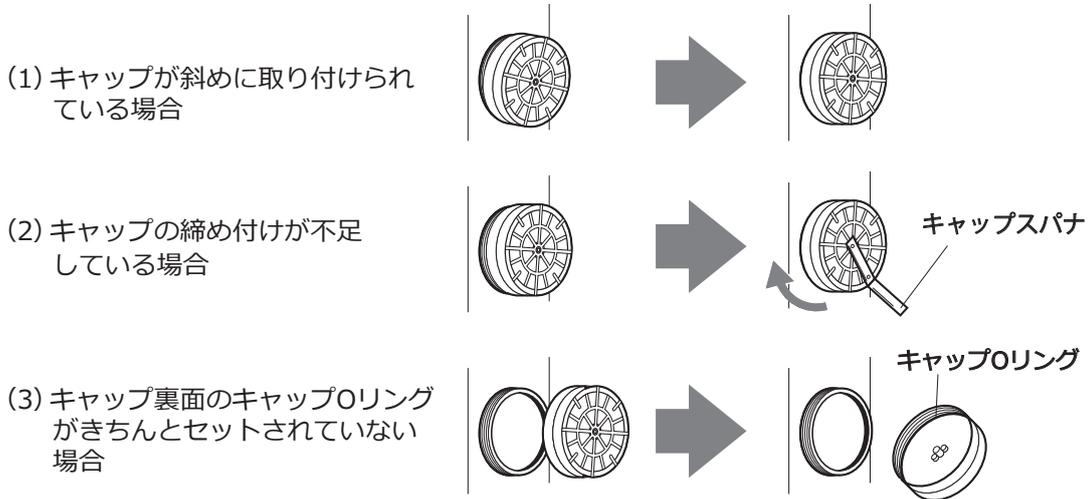
**9** バスケットにキャップを取り付けます。キャップをいったん左へゆっくり回し、キャップが平行になったところで右へ回して締め付け、最後にキャップスパナでしっかり締め付けてください。

※キャップ裏面のキャップOリング (半透明) がきちんとセットされているか確認してください。(下図参照)

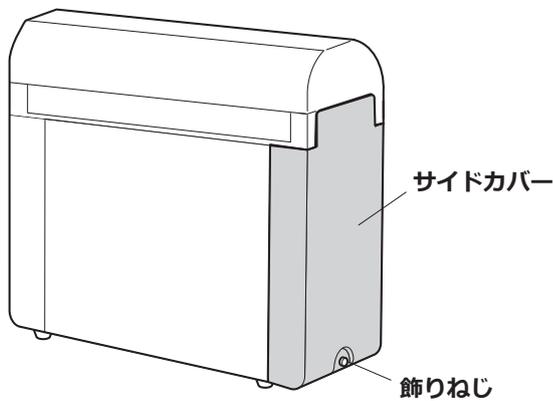


**⚠ 注意**

次のようにキャップやキャップOリングが正しく取り付けられていない場合、水漏れして故障の原因になりますので注意してください。



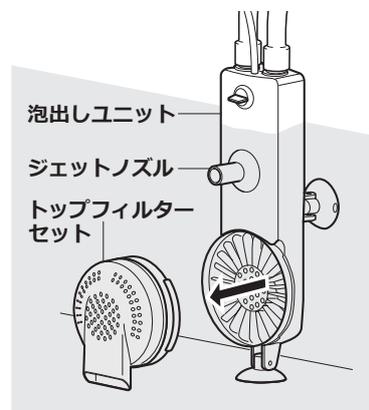
**10** サイドカバーを本体に取り付け、飾りねじを締めてください。



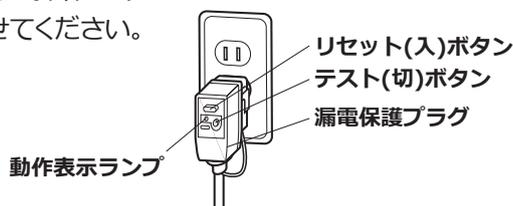
## 11 本体の運転と動作の確認

### 運転方法

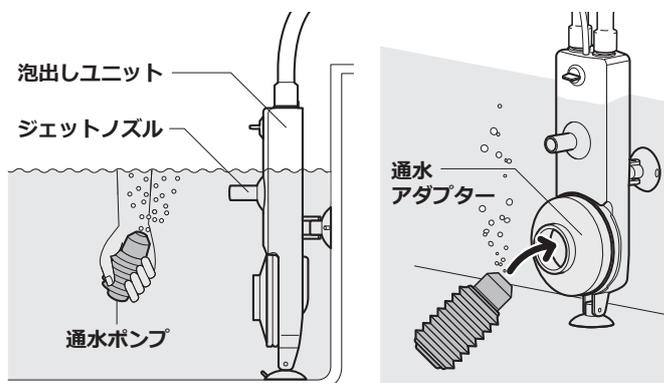
- 1** トップフィルターセットを外して、泡出しユニットのジェットノズルが充分にお湯につかるまで浴槽にお湯を入れてください。



- 2** 漏電保護プラグの[リセットボタン]を押し、操作パネルの[運転ボタン]を押して本体を運転させてください。



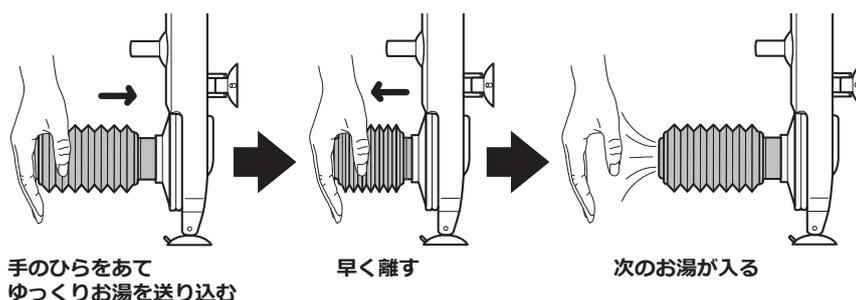
- 3** 下図のように、通水アダプターを泡出しユニット入水口に取り付けて通水ポンプを浴槽に沈め、中の空気を抜いてから、通水アダプターに差し込んでください。



### お知らせ

- ポンプ運転開始時にやや大きな音がすることがありますが、運転開始後音が止まれば異常ではありません。これは本体のポンプにお湯が完全に入っていないために生じる現象です。

- 4** 通水アダプターに差し込んだ通水ポンプでお湯を送り込んでください。通水ポンプの穴に手のひらを当て、十分に押しつけてお湯を送り込み、素早く手を離し、ジェットノズルからお湯が勢いよく流出するまでこの動作を繰り返します。



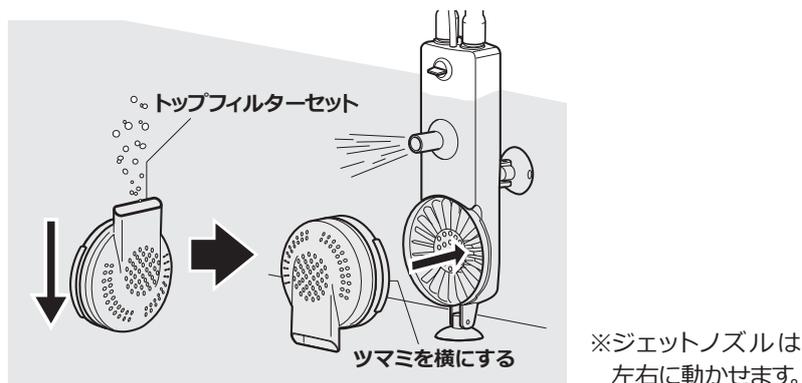
手のひらをあて  
ゆっくりお湯を送り込む

早く離す

次のお湯が入る

※上記の操作をむかえ水  
(呼び水)といいます。

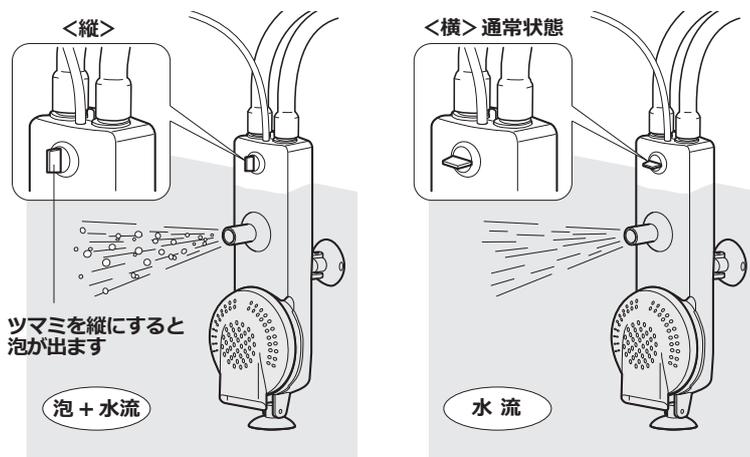
## 5 運転が始まったらトップフィルターセットを泡出しユニットに取り付けてください。



## 動作の確認

## 6 添付の「取扱説明書」の各部の名称を参考に操作パネルを操作して、下記の動作を確認してください。

- (1) [温度設定ボタン]を押す毎に、温度設定表示が変更できること。  
(1回押す毎に、1℃ずつ上昇または下降することを確認) (出荷時は41℃設定です)
- (2) [ジェット運転ボタン]を押し、循環する水流が強くなること。(同時に本体のポンプの音も変化します)
- (3) 泡出しユニットの泡出しツマミを縦にして、泡が出ること。



## 12 工事完了の立会と確認

お客様に設置工事状態の立会・確認をして下さい。

## 13 本体がうまく作動しない時(故障診断)

温度表示部に下記の異常表示が出たときは、異常が考えられますので、下記の処置を行ってください。

表示例	原因	処置方法
<b>E0</b>	水流センサー部の目詰まり	再度、むかえ水を行ない、運転を行ってください。
<b>E1</b>	水温センサーの故障	[運転ボタン]を押して運転を停止させ、漏電保護プラグを電源コンセントから抜き、販売店にご連絡ください。
<b>E2</b>	追い焚き、 その他による浴水の温度上昇 (水温センサー[47℃]の作動)	浴水の温度を設定温度付近まで下げ、[運転ボタン]を押して本体を停止させ、しばらくして再度押してください。
<b>E3</b>	ホースの折れ	正しく配管を直してください。
	むかえ水不足	再度むかえ水を行ってください。 (むかえ水を長めに行ってください)(P.22参照)
	入水口・出水口の接続間違い	正しく配管を直してください。
	ろ材・配管の詰まり	本体のろ材手洗浄・配管洗浄を行ってください。
<b>E4</b>	ヒーターの空焚き (ヒーターの空焚き防止装置の作動)	販売店へご連絡ください。
<b>E5</b>	バスケットのセットの不良	バスケットをセットし直してください。(P.20参照)
<b>E6</b>	浴水の温度上昇 (過昇保護[53℃]で作動)	[運転ボタン]を押して運転を停止させ、漏電保護プラグを電源コンセントから抜き、販売店にご連絡ください。
<b>E7</b>	切換弁の故障	
<b>E8</b>	コントロールボックスの故障	
<b>E9</b>	熱洗浄時の異常	
<b>CC</b>	電解水素浴時の異常 (水質の変化)	浴水を入れ替えて下さい。 「CC」が出続ける場合は、販売店に連絡ください。
<b>Ad</b>	電解質不足/電極寿命	Ad点滅表示中に食塩を小さじ一杯、浴水に投入して10分程度様子を見て下さい。改善しない場合は、電極の寿命ですので、販売店に連絡して電極交換を依頼して下さい。
<b>表示なし</b>	運転ボタンが押されていない	[運転ボタン]を押してください。運転ランプが点灯します。
	電源コンセントから漏電保護プラグの抜け	漏電保護プラグを電源コンセントに差し込んでください。
	傾斜センサーの作動 (漏電保護プラグの動作表示ランプが点灯)	本体の傾きを修正して漏電保護プラグの[リセットボタン]を押してください。運転が継続すれば問題ありません。 (注:運転が継続しない場合は本体より漏電している恐れがありますので、販売店へご連絡ください)
	操作パネルとコントロールボックス間のコネクタの抜け	本体のトップカバーを外し、コネクタを確認してください。

# 5

## お客様への説明

1 付属品で残っている下記のものをお客様にお渡しください。

- |                  |          |               |          |
|------------------|----------|---------------|----------|
| ○取扱説明書           | ○設置工事説明書 | ○保証書          | ○キャップスパナ |
| ○通水ポンプ           | ○通水アダプター | ○トップフィルター(予備) | ○残ったホース類 |
| ○使用しなかった部材や残った部品 | ○スポンジ    | ○洗浄ブラシ        |          |

2 別紙「取扱説明書」を参考にして、下記の操作を説明してください。

- (1) 操作パネルの操作方法について(取扱説明書P.10～11参照)
- (2) 運転および停止方法(とくに呼び水方法)について(取扱説明書P.12～14参照)
- (3) 浴水の浄化について(取扱説明書P.18参照)
- (4) 日常のお手入れの目安について(取扱説明書P.20参照)
- (5) トップフィルターの洗浄と浴槽内面のヌメリの除去について(取扱説明書P.21～22参照)
- (6) ろ材の手洗浄、浄化部および本体洗浄について(取扱説明書P.22～27参照)

3 「取扱説明書」を必ずお読みいただき、「保証書」とともに大切に保管していただくように説明してください。

## 6

## 仕様

型式	CKE-320LTH	
本体設置場所	浴室内	
本体外形寸法	高さ533×幅500×奥行175mm	
本体質量	約18kg (ろ材を含む)	
定格電圧	AC100V	
定格周波数	50/60Hz	
定格消費電力	100W	
ヒーター消費電力	750W	
最大消費電力	850W	
制菌システム	紫外線式(6W)	
	光触媒	
	高温加熱式	
浄化システム	生物浄化	
ろ材の洗浄方法	熱洗浄時自動洗浄	
水質 ※当社規定条件にて	濁度	2度以下
	過マンガン酸カリウム消費量	25ppm以下
	大腸菌群	1個以下/ml
	レジオネラ属菌	10CFU未満/100ml
対応のべ入浴人数	7人以下/日	
対応浴槽容量	400リットル浴槽(湯量320リットル)まで	
お手入れの方法	取扱説明書P.20参照	
消耗品	トップフィルター	6カ月または破損時に交換
	ろ材	減少したら補充・交換
	紫外線ランプ	1年に1回交換/グロー球も同時交換
	電極	半年～1年で交換/電解水素浴の利用回数による
温度表示	デジタル表示	
温度調節範囲	35～45℃ (設定1℃毎)、OFF	
循環水量調節	2段階切替方式(ノーマル、ジェット)	
安全装置	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ポンプ空運転防止装置(水流センサー)</li> <li>◆浴水温度過昇防止装置(過昇保護センサー)</li> <li>◆温度制御装置(水温センサー)の断線検知</li> <li>◆転倒時電流遮断装置(傾斜センサー)</li> <li>◆過電流保護装置(管ヒューズ15A)</li> <li>◆温度ヒューズ(130℃)</li> <li>◆漏電保護装置(漏電保護プラグ、感度電流6mA)</li> <li>◆自動洗浄ロック検知</li> </ul>	
操作パネルコード	2m	
電源コード	7m	

※当社規定条件とは、取扱説明書にしたがったお手入れを行った上で、最終入浴者入浴後8時間以上経過後の浴槽水を測定したものです。









 **コロナ工業株式会社**

〒776-8555

徳島県吉野川市鴨島町上浦400-1

TEL : 0883-24-1155

FAX : 0883-24-8506

HTTP://www.corona-net.com/